

令和 6 年度

# 事業報告書

社会福祉法人

鹿沼市社会福祉協議会

# 目次

## I 適切な法人運営と施設管理

1. 法人運営の確立	
(1) 会議・研修等の開催	1
(2) 会員制度の奨励	3
(3) プロジェクトチームによる組織体制強化	3
2. 効率的で適正な施設管理・運営	
(1) 総合福祉センターの管理運営	3
3. 鹿沼市社会福祉振興基金の活用	4

## II 総合的な福祉事業の推進

1. 福祉啓発の充実・強化	
(1) 「社協だより」の発行	5
(2) 令和6年度鹿沼市地域福祉振興大会の開催	6
(3) 栃木県民福祉のつどいでの受賞	6
(4) 啓発物品の配布等	6
(5) ひきこもりに関する講演会の実施	7
2. 関連団体と協働した事業の展開（赤い羽根共同募金）	
(1) 福祉団体等の主体的な活動促進	7
(2) 関係機関との連携	7
3. 支援を要する世帯等への支援	
(1) 生活福祉資金貸付事業	9
(2) 生活つなぎ資金貸付事業	9
(3) 赤い羽根一時給付金	10
(4) 災害等見舞金支給実績	10
(5) フードバンクによる支援	10
(6) お米の配布会	10
(7) 法人後見事業	10
(8) 日常生活自立支援事業（あすてらす）	11
(9) 生活困窮者自立支援事業	11
(10) ひきこもり家族会	12
(11) ひきこもり相談会の実施	12

## III 地域福祉活動の推進

1. 地区社協の活動支援と連携促進	
(1) 第4期地域福祉活動計画の推進	13
(2) 令和6年度「第4期鹿沼市地域福祉活動計画」推進委員会の開催	13
(3) 第1層協議体「鹿沼市地域支え合い協議体」の取り組み	13
(4) 地域の主体的な活動促進	14
2. 鹿沼市みまもり隊の支援	15
3. 移送サービス事業	15

# 目次

<b>IV ボランティア活動の推進</b>	
1. ボランティアの発掘と育成	
(1) ボランティア団体等の育成支援とネットワークづくり	16
(2) ボランティア講座の開催と活動促進	16
(3) ボランティア団体等への支援	19
(4) 福祉機材の貸出	20
(5) 寄附事業の運営	21
2. ボランティア活動と企業との連携	
(1) 企業との連携	21
3. 日本赤十字社活動の実施	21
<b>V 災害対策事業</b>	
1. 災害支援の対応	23
2. 研修・会議等への参加	23
3. 災害支援プロジェクトかぬま	24
<b>VI 介護・障がいと自立支援</b>	
1. 介護保険事業の推進	
居宅介護支援事業（ケアプラン策定等）	25
2. 心配ごと相談事業（介護相談）の実施	25
3. 障がい福祉サービス事業の推進	
(1) 指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業	25
4. 研修・会議等への参加	26
5. 虐待防止委員会の開催	26
6. 感染症対策委員会の開催	26
7. 事業継続計画委員会の開催	26
<b>VII 養護老人ホーム「千寿荘」の運営</b>	27
<b>VIII 高齢者福祉センター(出会いの森)の運営</b>	28
<hr/>	
<b>&lt;参考資料&gt;</b>	29
1. 社協職員の研修会、会議等への参加状況	29
2. 会費（年度別状況）	33
3. 総合福祉センターの利用状況	33
4. 表彰受賞者	33
5. ボランティアセンター登録団体	35
6. 共同募金の状況	36
7. 赤い羽根共同募金（公募助成団体内訳）	36
8. 介護保険事業の各種サービスの提供状況	37
9. 障がい福祉サービスの提供状況	37
10. 鹿沼市高齢者福祉センターの利用者数累計表	38

## I. 適切な法人運営と施設管理

各種施策の推進母体としての適切な法人運営と運営基盤の強化を図るとともに、地域の福祉活動拠点として効率的な施設運営に努めた。

## 1. 法人運営の確立

## (1) 会議・研修等の開催

①理事会、評議員会等により適正な法人運営と幅広い情報収集に努めた。

開催日	会 議	出席者数	内 容
6月 3日	理事会 (第229回)	11名	(1) 令和5年度 事業報告の承認について (2) 令和5年度 収支決算の承認について (3) 令和6年度 第2次補正予算について (4) 副会長の選定について (5) 評議員候補者の推薦について(市P連) (6) 評議員候補者の推薦について(市厚生課長) (7) 理事候補者の推薦について(鹿沼商工会議所) (8) 令和6年度 第1回評議員選任・解任委員会の開催について (9) 第195回定時評議員会の開催について
6月20日	定時 評議員会 (第195回)	11名	(1) 令和5年度 事業報告の承認について (2) 令和5年度 収支決算の承認について (3) 令和6年度 第2次補正予算について (4) 理事の選任について
12月 2日	理事会 (第230回)	12名	(1) 令和6年度 第4次補正予算について (2) 定款施行細則の一部改正について (3) 第196回評議員会の開催について
12月17日	評議員会 (第196回)	8名	(1) 令和6年度第4次補正予算について
2月20日	理事会 (第231回)	11名	(1) 令和6年度 第6次補正予算について (2) ひきこもり地域支援センター事業の受託について (3) 重層的支援体制整備事業の受託について (4) 法人後見事業の再開について (5) 令和7年度 事業計画について (6) 令和7年度 収支予算について (7) 定款の一部改正について (8) 定款施行細則の一部改正について (9) 社会福祉金庫の不納欠損処理について (10) 役員等賠償責任保険契約の締結について (11) 苦情解決相談委員会第三者委員の選任について (12) 評議員候補者の推薦について (13) 令和6年度 第2回評議員選任・解任委員会の開催について (14) 第197回 評議員会の開催について

## I. 適切な法人運営と施設管理

3月11日	評議員会 (第197回)	9名	(1) 令和6年度第6次補正予算について (2) ひきこもり地域支援センター事業の受託について (3) 重層的支援体制整備事業の受託について (4) 法人後見事業の再開について (5) 令和7年度 事業計画について (6) 令和7年度 収支予算について (7) 定款の一部改正について (8) 社会福祉金庫の不納欠損処理について
3月27日	評議員会 (第198回)	13名	(1) 定款の一部改正について

### ②監事監査

実施日	監 査 人	内 容
5月20日	黒川亨・大塚次郎	令和5年度事業執行状況及び経理状況について

### ③中間監査

実施日	監 査 人	内 容
11月 1日	黒川亨・大塚次郎	令和6年度上期の事務執行状況、上期の会計処理状況について

### ④内部監査の実施（各事業所：年4回実地）

実施日	監 査 人	内 容
8月1日	小磯 令子(高福 C)	鹿沼市社会福祉協議会本体の帳簿等各種の管理について
10月23日	石塚 菜穂子(千寿荘)	
1月15日	小磯 令子(高福 C)	
4月26日	松本 和明、福田 史織	鹿沼市千寿荘の帳簿等各種の管理について
8月 1日	福田 充広、松本 和明	
10月23日	柏渕 浩子、松本 和明	
1月16日	松本 和明、福田 史織	
4月19日	松本 和明、福田 史織	鹿沼市高齢者福祉センターの帳簿等各種の管理について
7月23日	福田 充広、松本 和明	
10月 9日	柏渕 浩子、松本 和明	
1月15日	松本 和明、福田 史織	
11月6日	野口 睦、松本 和明	あすてらすの帳簿等各種の管理について

### ⑤職員研修の実施

職員の資質向上を図るため、全職員を対象とした倫理研修（コンプライアンス研修）を実施したほか、各種福祉の基礎・専門研修等に積極的に参加した。

【参考資料 P29～32】

## I. 適切な法人運営と施設管理

### (2) 会員制度の勧奨

自治会長や地区社協役員等の関係者の協力により、会員の確保に努めた。

<会費募集結果>

( ): 前年度比

会費区分	世帯数 (件)	口数 (口)	計 (円)
普通会費 (1口 500円)	16,982	17,172	8,583,314 (4%減)
賛助会費 (1口 2,000円)	45	45	90,000 (13%減)
特別会費 (1口 3,000円)	21	23	70,000 (5%減)
団体会費 (1口 5,000円)	93	121	587,170 (13%減)
合 計	17,141	17,361	9,330,484 (5%減)

【参考資料 P33】

### (3) プロジェクトチームによる組織体制強化

第1期経営安定化計画の基づき、法人の経営状況が厳しくなりつつある中で、今後の本会の経営改善・強化の基本となる組織、財務に関する明確な方向性や指針、介護保険事業や施設経営に事業の強化・見直しについて、3つのプロジェクトチーム【施設活用・地区社協強化・指定管理受託】を設置し、現状の把握と課題解決の具体的な取組について、各チームごと3回の会議を実施し、提案書を作成し報告した。

## 2. 効率的で適正な施設管理・運営

### (1) 総合福祉センターの管理運営

ボランティア・各種登録団体・施設等に会議室や機材を無償貸出しすることにより、施設の有効活用を図った。また、利便性や安全性を担保しながら、引き続き感染症対策を実施し、変化していく利用者ニーズに対応した福祉活動拠点に相応しい効率的な運営に努めた。

施設管理においては、無線LANを構築し、Wi-Fiの環境も整え、それに伴うPC環境を整備した。また、PCデータ管理をクラウド化し、社協全体での共有化を実施した。建物や設備の老朽化に伴う不具合についても、予算の範囲内で計画的に修繕を行った。

また、節電の促進を図るなど、SDGsの一環として取組み、適正な保守管理に努めた。

<会議室等の利用実績>

単位：件、人

	午前		午後		夜間		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
小会議室	24	180	16	92	6	40	46	312
中会議室	292	583	292	583	42	460	626	1,626
大会議室	99	1,811	71	1,443	30	816	200	4,070
和室	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉活動の広場	19	267	31	358	48	784	98	1,409
生きがい広場	78	804	58	555	12	126	148	1,485
合 計	512	3,645	468	3,031	138	2,226	1,118	8,902

【参考資料 P33】

## I. 適切な法人運営と施設管理

### <団体事務室の利用実績>

団体名	利用日数 (日)
鹿沼市ボランティア連絡協議会	0
つくし会	0
鹿沼市老人クラブ連合会	169
合 計	169

### 3. 鹿沼市社会福祉振興基金の活用

#### (1) 基金の保管状況 (詳細は、令和6年度決算書参照)

寄附金の一部を普通預金、定期預金、債券の形に変えて保管。利息を活用し補助事業を行った。

#### (2) 利息収入を活用した団体補助

利息収入を活用した団体補助団体名	金額 (円)
鹿沼市自治会連合会	300,000
鹿沼市ボランティア連絡協議会	200,000
鹿沼市民生委員児童委員協議会連合会	150,000

## Ⅱ. 総合的な福祉事業の推進

多くの関係団体からの協力と相互連携により、幅広い分野に渡る啓発事業や支援事業を展開し、福祉の心を育むとともに、市民ニーズに対応した総合的な福祉施策を推進した。  
 <※当施策は主に共同募金（赤い羽根共同募金）の配分金を財源として実施した。>

### 1. 福祉啓発の充実・強化

#### (1) 「社協だより」の発行

広報紙「かぬま社協だより」を発行し、社協事業の周知を図った。前年度から継続して、団体会員や市内福祉関係機関へ発送することによりPRに努めた。

<「社協だより」の発行状況>

発行部数：毎回 30,000 部（全戸配布）

号数	発行日	主な掲載内容
第 244 号	6 月 25 日	◇第 20 回ふれあいフェスタ i n かぬま報告 ◇令和 5 年度事業報告及び決算報告 ◇令和 6 年度社協会員加入・会費納入のお願い ◇寄附の報告（令和 6 年 3 月～令和 6 年 5 月末日） ◇令和 6 年度 1 7 地区担当職員の紹介 ◇各種講座、職員募集などのお知らせ
第 245 号	9 月 25 日	◇赤い羽根共同募金運動がスタート ◇赤い羽根共同募金活用報告（こどもの遊び場&食品配布会） ◇福祉講座等の開催報告 ◇寄附の報告（令和 6 年 6 月～8 月末日） ◇寄附事業活用団体の紹介 ◇あすてらす支援員情報交換会の報告及び各種講座等のお知らせ
第 246 号	12 月 25 日	◇令和 7 年の新年のご挨拶 ◇令和 7 年度赤い羽根共同募金の公募助成募集 ◇寄附の報告（令和 6 年 9 月～11 月末日） ◇日本赤十字社活動資金募集実績の報告 ◇職員募集、ボランティア講座の募集等
第 247 号	3 月 25 日	◇第 21 回ふれあいフェスタ i n かぬま開催広報 ◇鹿沼市高齢者福祉センター（出会いの森）のご案内 ◇令和 6 年度社協会員・会費のご報告 ◇令和 6 年度赤い羽根共同募金運動結果報告 ◇寄附の報告（令和 6 年 12 月～令和 7 年 2 月末日） ◇車いす貸出、ボランティア活動保険更新手続きのご案内など



▲「社協だより」の発行

(2) 令和6年度鹿沼市地域福祉振興大会の開催

鹿沼市において、誰もが住みやすくやさしい地域社会を目指し、地域福祉の充実とボランティア活動の推進を図ることを目的として、鹿沼市地域福祉振興大会を開催した。

第一部式典では表彰状及び感謝状の贈呈、第二部では一般社団法人ちむぐる とちぎステップ家族相談室の渡邊厚司氏をお迎えして「ひきこもり・不登校を理解する」をテーマに講演を行った。

表彰状・感謝状贈呈者の内訳

- ① 大会会長表彰受賞者
  - ・地域福祉功労者 4名
- ② 大会会長感謝状受賞者

〔実施日：令和6年6月26日（水）  
場 所：鹿沼市民情報センター〕

・ボランティア功労者・団体 19名・6団体



▲大会会長あいさつ



▲地域福祉振興大会式典の様子

【参考資料 P33】

(3) 栃木県民福祉のつどいでの受賞

コロナの影響により各表彰部門における代表者のみが栃木県民福祉のつどいに参加をし、以下の表彰を受けた。

◇栃木県民福祉のつどいにおける受賞

開催日 令和6年8月29日（木）

会 場 栃木県総合文化センター 特別会議室

- ① 栃木県知事表彰受賞者
  - ・社会福祉施設・団体又はその従事者 4名
- ② 栃木県社会福祉協議会会長表彰受賞者
  - ・民生委員・児童委委員功労者 25名
  - ・社会福祉法人・社会福祉施設・団体関係功労者 40名

【参考資料 P34】

(4) 啓発物品の配布等

＜赤い羽根ロゴマーク入り黄色い帽子的配布＞

市内の小学校へ入学する児童を対象に、赤い羽根共同募金運動の啓発や交通安全を目的として、赤い羽根ロゴマーク入り黄色い帽子を配布した。

◇配布数： 658個

鹿沼市教育長への黄色い帽子贈呈 ▶



## II. 総合的な福祉事業の推進

### (5) ひきこもりに関する講演会の実施

ひきこもりに関する正しい理解と支援を周知することで、誰もが安心して暮らせる「福祉のまち」の実現を目指す第一歩として、『ひきこもりフォーラム in かぬま』を開催した。

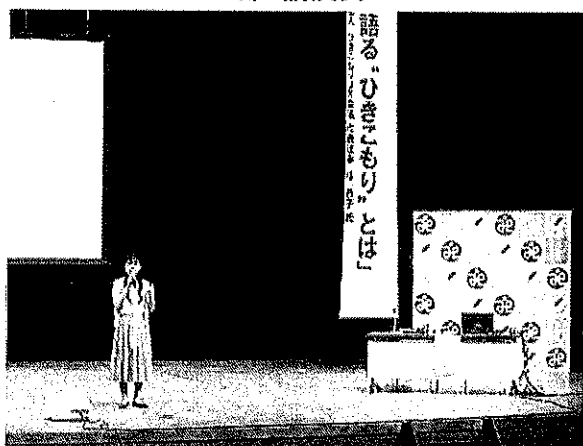
第1部では、ひきこもり経験者である、一般社団法人ひきこもりUX会議の林恭子氏にご講演いただいた。第2部はパネルディスカッション形式で「“ひきこもり”は他人ごとではなく自分ごと」をテーマに、ひきこもり経験者や支援者、鹿沼市の青少年相談員と社会福祉協議会職員が登壇し、様々な意見をもとに参加者とともに理解を深めた。

また、会場ロビーには市内でひきこもり支援等を行う各機関のブースを設置し、各機関の周知や相談の案内を行った。

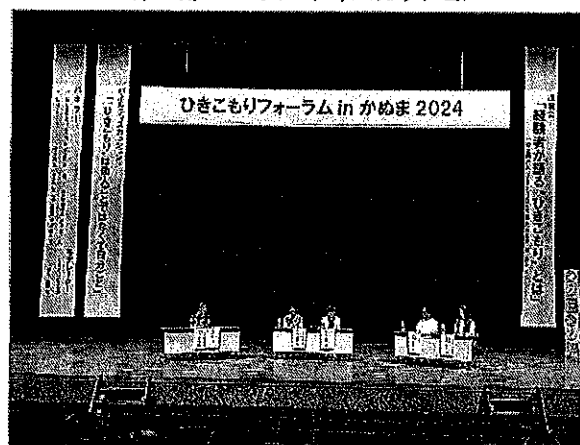
開催日：令和6年5月26日（日）13：30～16：00

参加者：199名

#### ▼1部 講演会



#### ▼ 第2部 パネルディスカッション



## 2. 関連団体と協働した事業の展開(赤い羽根共同募金)

### (1) 福祉団体等の主体的な活動促進

関係団体の特色ある福祉活動を支援

16団体 計1,406,000円

また、各種ボランティア団体を対象に、「助成金申請のための勉強会」を開催し、17団体28名の参加があった。

【参考資料 P36】

### (2) 関係機関との連携

ボランティア団体や企業、鹿沼市関係部署等と連携を図り各種事業を展開した。

#### <サンタ DE メリークリスマス事業実績>

在宅で生活する知的障がい児に、クリスマスの雰囲気を楽しんでもらうことを目的に実施した。

なお、対象者の確認にあたり、市内の障がい者通所施設や鹿沼市の障害福祉課等と連携を図った。

援助対象	援助内容	対象数(人)	単価(円)	金額(円)
① 在宅重度知的障がい児	クリスマスケーキ	32	3,900	124,800
② 生活介護施設通所者	チョコレート	157	1,200	188,400
③ あおば園通所児童	おもちゃ券	133	1,000	133,000
合計		322		446,200

※ ①については、鹿沼中央ロータリークラブ、鹿沼市ボランティア連絡協議会、(株)LIXIL トータルサービスの協力を受けてお届けした。

## Ⅱ. 総合的な福祉事業の推進

### <ひとり親家庭支援事業実績>

・児童扶養手当受給世帯を対象に、お米の配布と子どもの思い出作りの一助となる支援を行った。フードバンクボランティアや鹿沼市ボランティア連絡協議会、鹿沼市ひとり親家庭福祉会、鹿沼青年会議所、(株)LIXIL トータルサービス、(株)ダイナム栃木鹿沼店、社会福祉法人津田福祉会、(株)八百半フードセンターと協働で実施した。

また、対象者への案内については、鹿沼市こども未来部との連携を図った。

事前申込世帯数	来場世帯数
165 世帯	116 世帯



▲お米配布の様子



▲遊び場の様子

・昨年からの米価・物価等の高騰が続き、また、春休みに入る時期で家庭内の食糧費負担も増加することから、鹿沼市こども未来部との連携を図り、3月2日～3月4日の3日間、進級・進学を控えているひとり親家庭に対し、家計応援のため緊急の食糧支援を行った。また、社会福祉法人津田福祉会よりご寄附をいただいたコスメセットも一緒に配布した。

事前申込世帯数	配布数
320 世帯	272 世帯



◀ 配布物の一例

Ⅱ. 総合的な福祉事業の推進

3. 支援を要する世帯等への支援

各種貸付制度等により低所得世帯等に必要な援助をすることで、自立を促し生活の安定を図った。

(1) 生活福祉資金貸付事業

(令和7年3月31日現在)

資金種類	相談 件数	借入れ申請		貸付決定		貸付否決	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
総合支援資金	生活支援費	0	0	0	0	0	0
	住宅入居費	0	0	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0	0	0
福祉資金	福祉費	2	1	130,000	※2	※2, 130,000	0
	緊急小口資金	6	4	370,000	2	170,000	2
教育支援資金	教育支援費	3	2	2,166,000	2	2,166,000	0
	就学支度費	1	1	66,000	1	66,000	0
不動産担保型生活資金	0	0	0	0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	8	2,732,000	7	4,532,000	2	100,000

※ 申請件数・申請金額に対して貸付決定件数・決定金額が多いのは、令和5年度末に申請をした障害者自動車購入資金1件が、令和6年度に貸付決定をされたため。

令和5年1月～コロナ特例貸付の返済開始、返済免除・猶予・計画変更等の相談受付等のフォローアップ支援を実施中。また、生活状況を確認するためにアンケート調査を実施した。

<承認件数> 令和6年度の県社協承認実績

(件)

資金種類	職権免除	免除申請	猶予申請		計画変更		
			初回	複数回	減額	増額	
コロナ特例貸付	緊急小口資金	24	2	22	43	2	1
	総合支援資金初回	23	2	22	34	2	0
	総合支援資金延長	20	2	13	8	1	0
	総合支援資金再貸	6	66	22	0	1	0

※職権免除の内容については、県社協調査・確認による自己破産・債務整理・債務者死亡等

(2) 生活つなぎ資金貸付事業

貸付件数(件)	貸付金額(円)
24	493,000

徴収不納欠損した件数(件)	徴収不納欠損金額(円)
1	15,000

償還指導	督促発送(回)	面接(回)	訪問(回)	電話(回)	住所照会(件)
	2	5	1	2	10

貸付中債権数	貸付債権数(件)	貸付金額(円)
	107	2,277,000

## Ⅱ. 総合的な福祉事業の推進

### (3) 赤い羽根一時給付金

対象	単価	給付人数合計
生活に困窮している世帯	5,000円分商品券	90件

### (4) 災害等見舞金支給実績

区分	件数 (件)	単価(円)	金額(円)
風水害(半壊)	0	5,000	0
風水害(流出)	0	10,000	0
風水害(床上浸水)	1	5,000	5,000
風水害(弔慰金)	0	1人につき10,000	0
※火災(半焼)	0	10,000	0
※火災(全焼)	5	20,000	100,000
※火災(半壊)	0	10,000	0
※火災(全壊)	0	20,000	0
火災(弔慰金)	1	1人につき10,000	10,000
合計	7	—	115,000

※については栃木県共同募金会からの配分との合計。

### (5) フードバンクによる支援

市民の方々から寄附していただいた食品を、生活困窮世帯に対して無償で食糧を提供する「フードバンク」事業を行った。

	件数(件)	米(kg)	食料(kg)
食品の受領	363	2,869	2,554
食品の配布	650	2,546	3,734

### (6) お米の配布会

共同募金を活用し、生活の苦しい方々へお米5kgとおかず類の無料配布を行った。

開催日：令和6年12月10日(火)～13日(木)

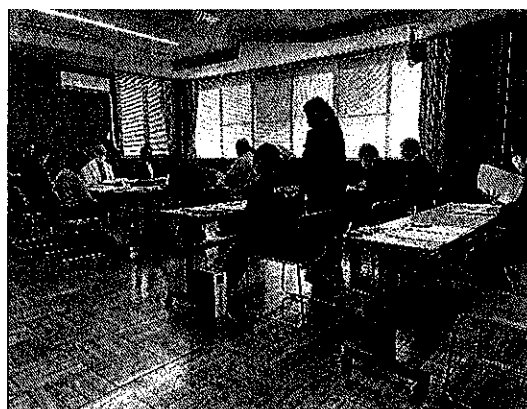
配布世帯：200世帯 配布量：お米1,000kg、おかず類200セット

### (7) 法人後見事業

事業再開に向けて、法人後見運営委員会や行政等と協議をした。適正な管理・運営が図れるよう法人後見事務取扱要領や法人後見業務マニュアル、運用確認マニュアルを作成し、令和7年4月からの業務再開に向けて取り組んだ。

<法人後見運営委員会実施状況>

開催日	出席委員
令和6年10月11日	7名
令和7年2月7日	7名



Ⅱ. 総合的な福祉事業の推進

(8) 日常生活自立支援事業 (あすてらす)

認知症高齢者等が自立した地域生活を送れるよう、生活支援サービス、金銭管理サービス、書類等預かりサービス等の各種サービスを提供した。

8月8日に生活支援員の意見交換会を開催し、支援員7名と事例検討を行い、情報共有や交流を図った。また、適切に事業を実施する為に9月10日に運営適正化委員会による調査、11月6日に内部監査を実施した。栃木県社会福祉協議会によるキントーン(業務アプリを作成するクラウドサービス)が導入され、ペーパーレス化・業務効率化に努めた。

◇サービス利用対象者

- ・認知症高齢者・知的障害者・精神障害者等で判断能力が不十分な方
- ・虚弱高齢者、身体にハンディがある方で、在宅生活や入院・入所生活で自立した生活が困難な方

<相談対応実績> 令和7年3月31日現在 (単位:件)

問合せ	48
初回相談	33
相談援助件数	1,644
合計	1,725

<契約実績> 令和7年3月31日現在 (単位:件)

R5年度契約総数	R6年度新規契約数	R6年度解約数	現契約数
96	10	12	94

(9) 生活困窮者自立支援事業

平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づいて、鹿沼市役所内に設置をされた「生活相談・支援センター(愛称:のぞみ)」の運営を受託し、相談員4名を配置して、生活困窮に関する各種相談に対応、就労支援や家計相談を行うことで、対象世帯が生活困窮状態から抜け出せるよう支援した。

<相談対応実績> 令和7年3月31日現在

新規相談件数: 147件 (うち就労者数: 15名)

活動内容 (延件数)

相談内容	件数(件)
病気や健康	8
住まい	15
収入・生活費	80
家賃やローン	7
税や公共料金支払い	1
債務	4
仕事探し、就職	14
仕事上の不安	0
地域と関係	0
人間関係	3
子育て、介護	2
引きこもり、不登校	3
DV、虐待	0
食べるものがない	1
その他	9
合計	147

面接	訪問	関係機関同行	プラン作成
431回	137回	89回	30件

## Ⅱ. 総合的な福祉事業の推進

### ② 中間就労の場の開拓

相談者の希望に沿った就労につなげるために、認定就労訓練事業所の開拓やスムーズな支援が行えるよう市内認定事業所と「認定就労訓練事業所情報交換会」を開催した。新たに2事業所が栃木県の認定をうけ、市内認定事業所は10か所となった。

開催日	会場	参加者数	内容
令和6年10月25日	総合福祉センター	15名	・生活困窮者自立支援制度について ・瀬谷新聞店の取り組み紹介について ・情報交換会

### ③ 相談会の開催

のぞみ相談者を対象に炊き出しを実施し、孤立感の軽減を図るとともに相談や情報提供を行った。

開催日	会場	参加者数	内容
令和6年8月2日	総合福祉センター	22名	・保健師による健康相談、血圧測定 ・就職相談、中間就労の説明や情報提供

### (10) ひきこもり家族会

ひきこもり状態になった本人とご家族を支援するため、家族会を開催した。 単位：名

開催日（毎月第3木曜日）	会場	参加者数(内関係者)
1 令和6年 4月18日	総合福祉センター	4 (2)
2 令和6年 5月16日	総合福祉センター	4 (2)
3 令和6年 6月20日	総合福祉センター	4 (2)
4 令和6年 7月18日	総合福祉センター	3 (2)
5 令和6年 8月22日	総合福祉センター	5 (3)
6 令和6年 9月19日	総合福祉センター	2 (2)
7 令和6年10月17日	総合福祉センター	3 (2)
8 令和6年11月21日	総合福祉センター	3 (2)
9 令和6年12月19日	総合福祉センター	4 (2)
10 令和7年 1月23日	総合福祉センター	3 (2)
11 令和7年 2月20日	フェアトレードショップ&カフェ CO-BLUE	9 (4)
12 令和7年 3月13日	総合福祉センター	3 (2)
合計		47 (27)

### (11) ひきこもり相談会の実施

ひきこもりに関する相談を希望する市民を対象として、市内でひきこもり支援を専門的に行っている一般社団法人へ相談員を依頼して実施した。相談の内容は、相談員と社協担当者で共有し、対象者の支援方針を検討したり、ひきこもり家族会の案内を行ったりと対象者家族が孤立することのないよう、伴走した支援を行った（継続中）。

開催日：令和6年7月3日（水）、令和6年7月6日（土）

各日とも①9：30～②11：00～③13：30～④15：00～の4枠募集

※2月にも予定したが、申し込みがなかった

参加者：3世帯（3枠）

## Ⅲ. 地域福祉活動の推進

地区社協の活動を支援するとともに、地区社協間のネットワークの連携強化を図り、地域における主体的な福祉活動と地域の特色を生かした福祉施策を推進した。

<※当施策は主に会費を財源として実施した>

### 1. 地区社協の活動支援と連携促進

#### (1) 第4期地域福祉活動計画の推進

令和4年度に策定した第4期鹿沼市地域福祉活動計画（R4年度～R8年度）に基づき、市内17地区の地区社協が地域の実情に合った福祉活動を推進した。

新型コロナウイルスの感染予防に配慮しながら、地域の支えあい活動やつどい事業、高齢者の介護予防や地域事業への参加を促す地域福祉活動を支援した。

#### <補助金交付実績>

地区社協名	主な事業内容	補助金額（円）
中央地区福祉活動推進協議会	地域福祉推進事業	100,000
合 計		100,000

#### (2) 令和6年度「第4期鹿沼市地域福祉活動計画」推進委員会の開催

第4期鹿沼市地域福祉活動計画の策定から2年目となり、令和5年度事業対象の評価と成果の分析を行うため、推進委員会を開催した。

委員の皆様からは「施策展開より多大な効果があった」との評価をいただいた。

・開催日時：令和6年9月26日(木)午後1時30分～ 於：鹿沼市総合福祉センター 生きがい広場

#### (3) 第1層協議体「鹿沼市地域支え合い協議体」の取り組み

生活支援・介護予防サービスの推進するために、多様な提供主体等が参画する情報共有及び連携強化の場として協議体の設置により、地域における課題解決に向けての協議を行った。また、鹿沼市第2層協議体活動支援金の交付を行い、地域の実情に合わせた活動の支援を行った。

第1層協議体委員 任期：令和5年7月1日～令和8年6月30日

役 職	氏 名	所属名等
委員長	鈴木 節 也	鹿沼市自治会連合会
副委員長	上 澤 孝 重	鹿沼市民生委員児童委員協議会連合会
委 員	紺 野 勝 寛	スマイルきくさわ第2層協議体
委 員	石 川 佳 男	鹿沼市シルバー人材センター
委 員	須 田 陽 子	鹿沼市ボランティア連絡協議会
委 員	石 綱 秀 行	栃木県生活支援コーディネーター指導者
委 員	井 上 玉 枝	NPO 法人かぬま市民活動サポーターズ
委 員	井 戸 道 廣	栗野商工会
委 員	江 口 侑 弥	鹿沼市地域包括支援センター
委 員	松 島 誠	鹿沼市保健福祉部高齢福祉課
委 員	高 橋 年 和	鹿沼市社会福祉協議会

第1層生活支援コーディネーター

第1層 SC	齋 藤 裕 嗣	鹿沼市社会福祉協議会
--------	---------	------------

第1層協議体の開催

- ・第1回（令和6年11月13日）
- ・第2回（令和7年3月13日）

### Ⅲ. 地域福祉活動の推進

#### (4) 地域の主体的な活動促進

市内の地区社協活動を支援するために助成金を交付したが、コロナ禍を経て事業が少しずつ再開されてきている地区もあった。

#### <地区社協への助成金内訳>

地区社協名	令和6年度の地域福祉活動及び実施事業	助成金額(円)
北部地区福祉活動推進協議会	◇友愛訪問事業 ◇高齢者招待事業	1,013,000
中央地区福祉活動推進協議会	◇支えあいボランティア活動 ◇安全安心総合対策推進事業	768,800
東部地区福祉活動推進協議会	◇友愛訪問事業 ◇高齢者招待事業	1,409,000
菊沢地区コミュニティ推進協議会	◇ときめく菊沢ふれあい祭り ◇きくさわスマイル号・スマイルカフェ	1,373,700
東大芦地区コミュニティ推進協議会	◇友愛訪問事業 ◇にこにこ弁当事業	464,400
北押原地区福祉活動推進協議会	◇花いっぱい運動 ◇高齢者サロン事業	1,225,300
板荷地区コミュニティ推進協議会	◇にこにこ弁当事業 ◇敬老会事業	371,000
西大芦地区福祉活動推進協議会	◇ふれあい体育祭 ◇にこにこ弁当事業	278,000
加蘇地区福祉活動推進協議会	◇高齢者ふれあい招待事業 ◇友愛訪問事業	334,600
北犬飼地区福祉活動推進協議会	◇高齢者招待事業 ◇にこにこ弁当事業	844,000
東部台地区福祉活動推進協議会	◇友愛訪問事業 ◇高齢者招待事業	1,361,250
南摩地区福祉活動推進協議会	◇なんまサロン ◇南摩フェスティバル	572,000
南押原地区福祉活動推進協議会	◇友愛訪問事業 ◇高齢者招待事業	630,000
栗野地区福祉活動推進協議会	◇高齢者サロン事業 ◇福祉まつり(ふる里あわの秋まつり共催)	580,000
粕尾地区福祉活動推進協議会	◇高齢者サロン事業 ◇福祉まつり(ふる里あわの秋まつり共催)	360,000
永野地区福祉活動推進協議会	◇高齢者サロン事業 ◇福祉まつり(ふる里あわの秋まつり共催)	343,000
清洲地区福祉活動推進協議会	◇世代間交流事業 ◇福祉まつり(ふる里あわの秋まつり共催)	418,000
合 計		12,346,050

## 2. 鹿沼市みまもり隊の支援

高齢者が安心して暮らせる地域社会づくりを目的に、市内17地区において見守り・相談活動を実施した。

見守り・相談延べ回数（鹿沼市全体）： 36,843回

## 3. 移送サービス事業

日常生活において様々な事情により、公共交通機関を利用できない市民が、良好な日常生活を送るため各地区のボランティアによる移送サービスを実施した。

地区名	加蘇	西大芦	南押原	栗野	粕尾	永野	清洲	合計
ボランティア登録者数	72人	272人	55人	72人	67人	72人	37人	647人
利用登録者数	53人	106人	98人	60人	128人	23人	58人	526人
ボランティアによる移送回数	27回	22回	68回	16回	58回	26回	20回	237回
コミセン職員による移送回数	0回	9回	1回	4回	0回	0回	0回	14回
運行回数	27回	31回	69回	20回	58回	26回	20回	251回

※上記、登録者数及び回数は延べ数

## IV. ボランティア活動の推進

コロナの感染対策を図りながら、小中高生向けの講座や学校福祉体験の実施、各種団体や企業と連携し、イベントやボランティア講座等を行い、工夫をしながら市民・団体・企業の福祉意識の向上に努めた。

### 1. ボランティアの発掘と育成

#### (1) ボランティア団体等の育成支援とネットワークづくり

「第20回ふれあいフェスタ in かぬま」の開催支援

それぞれの団体が力を合わせて行う手作りの祭典「ふれあいフェスタ in かぬま」の開催を支援し、福祉の心の育成と人々のふれあいの輪を広めた。

◇開催日：令和6年4月21日（日）

◇会場：市民情報センター館内及び駐車場

◇実施主体：第20回ふれあいフェスタ in かぬま実行委員会

#### (2) ボランティア講座の開催と活動促進

あらゆる年齢層を対象に、幅広いテーマと具体的な体験学習を通じて、ボランティアの育成に努めた。

##### ①手話・点訳講座の開催

講座名	回数 (回)	受講者数 (名)		備 考
		延べ人数 (名)		
初めての手話講座（初級） 昼の部	7/25～ 10/10	10	8	講師：鹿沼市聴覚障害者協会 1名 鹿沼地区手話通訳者連絡会 1名
			57	
初めての手話講座（初級） 夜の部	7/25～ 10/10	10	14	講師：鹿沼市聴覚障害者協会 2名 鹿沼地区手話通訳者連絡会 1名
			101	
初めての点訳講座（初級）	7/24～ 10/2	10	3	講師：点訳グループ「桐」2名
			28	
合計	30		25	
			186	

##### ②中高生サマースクール（福祉施設体験）の開催

福祉施設での体験を通して、施設職員が利用者とどのように関りを持っているのか、どのような支援をしているのか、また利用者がどんな思いを抱え生活しているのかを感じ、福祉をより身近なものと感じ、自分で考え行動できるきっかけとなることを目的として実施した。

◇開催日 令和6年8月8日（木）

◇対象者 市内中学校・高等学校の学生

◇体験施設 市内障害者支援施設、高齢者福祉施設

◇内 容 ・施設体験  
・グループワーク

◇参加者 13名



▲オリエンテーションの様子



▲福祉施設体験の様子

### ③学校での体験学習開催

小・中・高等学校からの福祉体験の依頼に応じ、福祉体験サポーター（地域住民）や関係機関と協働し、校内で体験学習と講話を実施した。

開催日	学校名	内容	参加者 (名)
6月5日	石川小学校(4年生)	高齢者疑似体験・講話(鹿沼東包括支援センター)	30
6月7日	中央小学校(4年生と保護者)	車いす介助体験・ガイドヘルプ体験・講話・動画視聴	116
6月17日	東小学校(4年生)	車いす介助体験	124
11月7日	さつきが丘小学校(4年生)	車いす介助体験・ガイドヘルプ体験・講話	82
11月12日	さつきが丘小学校(4年生)	高齢者疑似体験	82
11月27日	みどりが丘小学校(4年生)	車いす介助体験・ガイドヘルプ体験	77
12月10日	北小学校(4年生)	車いす介助体験・ガイドヘルプ体験	132
1月30日	南押原中学校(全校生)	1年生：車いす体験 2年生：高齢者疑似体験 3年生：点字体験・講話	74
2月6日	加蘇中学校(1年生)	車いす体験・講義	3

### ④小学校福祉教育(共育)の実施

学校からの相談を受け、「学んだことを地域に発信したい」という子どもたちの思いをカタチにするため、学校だけでなく地域とも協働した福祉教育(共育)事業を実施した。令和6年度はモデル事業として行った。

対象者：中央小学校 4年生 58名

テーマ：①耳の不自由な方とのコミュニケーション

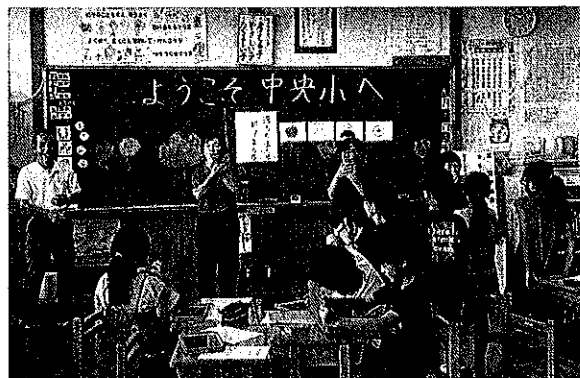
②障がいのある方や地域を支える募金活動

IV. ボランティア活動の推進

開催日	内容	協力団体等
7月12日	講話「ふくしてなあに？」 対象：4年生全員	
7月17日	「聞こえが不自由な方に学校案内をしよう」～準備編～ 対象：4年1組 「募金について考えよう」 対象：4年2組	
9月6日	「聞こえの不自由な方に学校を案内しよう」～実践編～ 対象：4年1組 「募金について考えよう」～共同募金のポスターを作ろう～ 対象：4年2組	鹿沼市聴覚障がい者協会 鹿沼地区手話通訳者連絡会 中央地区の17自治会 株式会社ヤオハン各店舗
9月11日	「聞こえが不自由な方に学校案内をしよう」～準備編～ 対象：4年2組 「募金について考えよう」 対象：4年1組	
9月20日	「聞こえの不自由な方に学校を案内しよう」～実践編～ 対象：4年2組 「募金について考えよう」～共同募金のポスターを作ろう～ 対象：4年1組	鹿沼市聴覚障がい者協会 鹿沼地区手話通訳者連絡会 中央地区の17自治会 株式会社ヤオハン各店舗
11月20日	赤い羽根共同募金 街頭募金 対象：4年生全員	まちの駅 新・鹿沼宿



▲講話の様子



▲聴覚障がいのある地域の方と、手話で交流している様子

⑤学校での体験学習支援

小・中・高等学校のボランティア学習に手話・点訳講師の派遣を行い、自主的な学校事業を促進した。

区分	手話の体験学習	点訳の体験学習
小学校	16校（40回）	15校（29回）
中学校	1校（4回）	2校（3回）
高等学校	0校（0回）	0校（0回）
合計	17校（44回）	17校（32回）

- ・手話講師…鹿沼地区手話通訳者連絡会及び鹿沼市聴覚障害者協会
- ・点訳講師…点訳グループ「桐」

IV. ボランティア活動の推進

(3) ボランティア団体等への支援

① ボランティア団体の運営基盤強化

積極的に活動をしているボランティア団体等13団体に活動援助金を交付し、運営基盤の強化を図った。

	団体名	援助金該当事業	交付額(円)
1	ボランティアふれあい	高齢者の生きがい活動支援	100,000
2	シルバー大学校鹿沼支部	福祉施設への慰問活動	60,000
3	フラダンスとりあえず	福祉施設への慰問活動	70,000
4	デイジーこだま	市広報紙等のデイジー版製作活動	40,000
5	介護服リフォーム“ミモザ”	障がい者や高齢者等の衣類のリフォーム	30,000
6	朗読グループいずみ	会員のスキルアップ研修	80,000
7	日本ボーイスカウト栃木県連盟鹿沼第1団	社会奉仕活動等	90,000
8	日本ボーイスカウト栃木県連盟鹿沼第4団	社会奉仕活動等	100,000
9	要約筆記サークルいちご	難聴者等との交流活動や会員のスキルアップ研修	89,000
10	鹿沼地区手話通訳者連絡会	中途失聴・難聴者との防災研修	90,000
11	鹿沼市中途失聴難聴者協会	中途失聴者・難聴者との交流活動と手話講習会	83,000
12	点訳グループ「桐」	視覚障がい者との交流活動や会員のスキルアップ研修	100,000
13	シルバー大ラーニング飛翔	福祉施設への慰問活動等	80,000
合 計			1,012,000

【参考資料 P35】

#### IV. ボランティア活動の推進

##### ②福祉教育学校助成金

児童・生徒の福祉意識の向上や学校の福祉教育への取り組みを推進するために、赤い羽根共同募金を財源とした学校助成金配分金を6校に交付した。

	学校名	主な活動内容	交付額 (円)
1	鹿沼市立みどりが丘小学校	福祉体験学習	81,000
2	鹿沼市立中央小学校	福祉体験学習	60,000
3	鹿沼市立栗野小学校	福祉体験学習	62,000
4	鹿沼市立東小学校	福祉体験学習	100,000
5	鹿沼市立南摩小学校	福祉体験学習	65,000
6	鹿沼市立池ノ森小学校	福祉体験学習、地域住民との交流	100,000
合 計			468,000

##### (4) 福祉機材の貸出

ボランティア等に機材を貸出することにより活動を促進した。

機材名	貸出回数 (回)	機材名	貸出回数 (回)
車椅子	126	着ぐるみ	1
高齢者疑似体験セット (大人)	6	綿菓子機	26
高齢者疑似体験セット (小人)	8	ポップコーン機	26
アイマスク	0	かき氷機	37
白杖	16	焼き芋機	1
パソコン	1	きね・うす	3
スクリーン	22	水槽	5
プロジェクター	24	発電機	11
マイク・スピーカー	8	ドラムコード	22
机	1	クーラーボックス	11
椅子	1	テント (1間×2間)	3
ベンチ	7	テント (2間×3間)	5
ボランティア号 (シエンタ)	77	タープテント	23
ポッチャ	3	災害用テント・トイレ	1
輪投げ	12	合 計	487

## IV. ボランティア活動の推進

### (5) 寄附事業の運営

ボランティア活動の調査研究や情報提供を行うとともに、寄附いただいた金品を送金することにより、団体等の活動基盤を強化した。

#### <寄附金取扱実績>

単位：件、円

寄附金 送金先	5年度繰越金	6年度寄附		6年度送金		次年度繰越金
		件数	金額	件数	金額	
指 定 な し	2,986,663	16	690,572	13	1,012,000	2,665,235
社会福祉団体	3,650,000	17	1,474,000	18	2,686,802	2,437,198
預 金 利 息	0	2	3,262	2	3,262	0
合 計	6,636,663	35	2,167,834	33	3,702,064	5,102,433



▲鹿沼木工団地協同組合 様より

## 2. ボランティア活動と企業との連携

### (1) 企業との連携

社会貢献活動に取り組む企業と連携し、事業への参加協力やボランティア団体等の活動支援、イベントの開催を協働で行うことで、地域住民や団体との交流や繋がりを支援した。

## 3. 日本赤十字社活動の実施

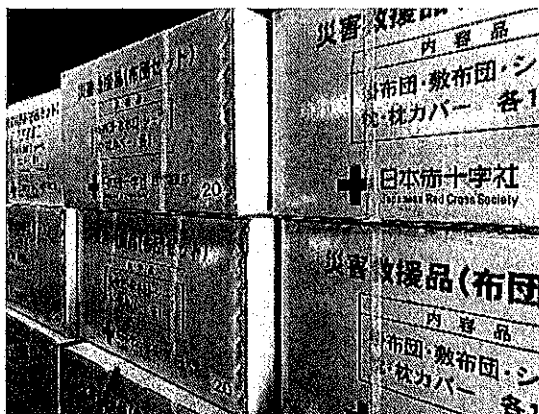
5月1日～5月31日を強化月間として日赤社資の募金活動を実施した。  
また、火災等に遭われた方を対象に見舞金及び物資等の支給を行った。

社資合計・・・9,134,761円

IV. ボランティア活動の推進

災害見舞金	6件	55,000円
弔慰金	1件	10,000円

救援物資	布団セット	14セット
	毛布	12枚
	緊急セット	6セット



▲災害救援物資

《義援金・救援金の募金箱設置》

鹿沼市内の公共機関に募金箱を設置し、市民への協力をお願いした。

名称	期間	実績
令和6年能登半島地震災害義援金	令和6年1月5日～ 令和7年12月26日	実施中
2024年台湾東部沖地震救援金	令和6年4月5日～ 令和6年6月28日	97,439円
令和6年7月25日からの大雨災害義援金	令和6年8月1日～ 令和7年3月31日	33,417円
令和6年9月能登半島大雨災害義援金	令和6年9月25日～ 令和7年12月26日	実施中
令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金	令和7年3月6日～ 令和7年6月30日	実施中

## V. 災害対策事業

ポストコロナ時代において、災害支援のあり方も ICT の活用や外部支援を活用しながら地元主体の災害ボランティアセンター運営を行い、被災者の福祉ニーズへの対応を拡充している。また、各種義援金の募集による被災地支援や鹿沼市で発生した大雨による災害支援活動に対しても迅速な対応と活動を行った。

### 1. 災害支援の対応

#### (1) 被災地支援の募金運動の実施

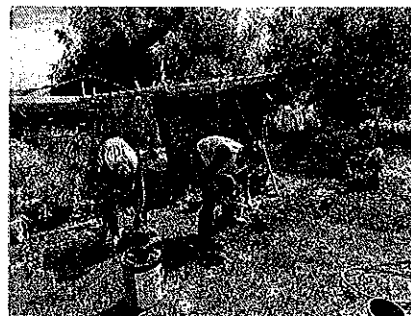
被災地支援を目的とした募金運動を展開し、総合福祉センター窓口、市及び関係機関等へ募金箱を設置した。

#### (2) 令和6年8月26日大雨による災害支援

令和6年8月26日未明から降り出した大雨により、市内一部地域において土砂流出等の被害が発生。

被害件数は少ないことから、災害ボランティアセンターの設置は行わず、通常のボランティアセンターでの対応を行った。

- ◇対応期間 令和6年9月12日～10月17日
- ◇対応件数 2件（上久我・引田）
- ◇主な活動 被災家屋の敷地内の土砂出し及び清掃
- ◇参加人数 延べ41名



### 2. 研修・会議等への参加

職員の資質向上とネットワークの構築を目的として、各種研修・会議等に参加した。

- ① 令和6年度市町村協災害支援担当者連絡会議（主催 栃木県社会福祉協議会）  
職員2名が出席
- ② 令和6年度災害ボランティアネットワーク会議（主催 栃木県社会福祉協議会）  
職員2名が出席
- ③ 令和6年度災害ボランティアセンター運営マネジメント研修（主催 栃木県社会福祉協議会）  
職員1名が出席
- ④ とちぎ災害ボランティア活動資機材ネットワーク会議（主催 栃木県社会福祉協議会）  
職員1名が出席
- ⑤ 足立区災害ボランティアセンターネットワーク会議（主催 足立区社会福祉協議会）  
職員1名が出席
- ⑥ 足立区災害ボランティア災害基礎研修会・キントーン運用訓練（主催 足立区社会福祉協議会）  
職員4名が出席
- ⑦ 令和6年度災害ボランティアセンター運営コーディネーター研修【初級】（主催 栃木県社会福祉協議会）  
職員2名が出席
- ⑧ 令和6年度災害ボランティアセンター運営コーディネーター研修【中級】（主催 栃木県社会福祉協議会）  
職員2名が出席

### 3. 災害支援プロジェクトかぬま

鹿沼市における地元の災害支援力の向上と被災された方への幅広い支援の可能性を広げていくことを目的に、市内の様々な団体や機関との連携を図るために「災害支援プロジェクトかぬま」を令和5年度に立上げし、2年目となる令和6年度は更なる関係との連携や、お互いの専門性（得意分野）の理解を進めていくためミーティングや研修会の他、講演会を開催した。

#### 【プロジェクトメンバー】

順不同

鹿沼市ボランティア連絡協議会・災害ボランティアチームかぬま・鹿沼青年会議所・NPO 法人鹿沼市民活動サポーターズ・鹿沼飲食業組合・菊沢きずなプロジェクト・災害救援ひのきしん隊栃木教区隊・鹿沼市消防団・鹿沼市厚生課・鹿沼市協働のまちづくり課・鹿沼市国際交流協会・株式会社八百半フードセンター・機動パトロール隊・鹿沼市社会福祉協議会

（協力：宇都宮大学地域デザインセンター地域防災部門・NPO 法人栃木県防災士会）

#### ① ミーティングの開催

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 第1回ミーティング     | (令和6年7月30日)  |
| 第2回ミーティング     | (令和6年9月30日)  |
| 第3回ミーティング・研修会 | (令和6年10月30日) |
| 第4回ミーティング     | (令和7年1月15日)  |



#### ② 研修会及び講演会

##### ○初めての防災災害講座

開催日時 令和6年10月20日（日） 10:00～12:00

講座内容 能登半島地震について（被災状況やボランティア活動の報告）  
ふだんからできる防災活動  
避難所の基礎知識と準備  
災害ボランティア活動  
災害に役立つ道具

主催：鹿沼市社会福祉協議会 共催：災害支援プロジェクトかぬま

##### ○研修会：能登半島地震から考える協働と情報の重要性」

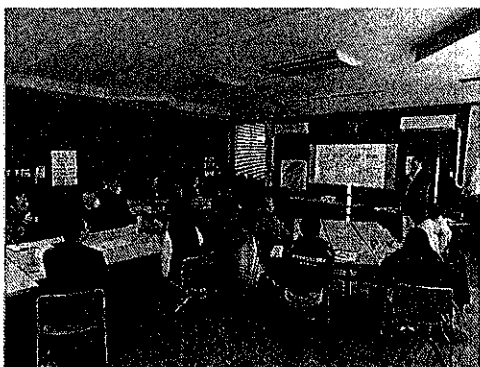
開催日時 令和6年11月24日（日） 13:30～16:00

講師 Office SONOZAKI 代表 園崎秀治 氏

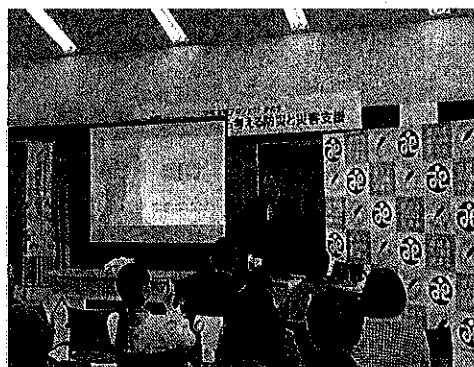
##### ○講演会：「能登半島地震から考える防災と災害支援」

開催日時 令和7年2月1日（土） 13:30から16:00

講師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク  
理事長 李 仁鉄 氏



▲R6.11.24 研修会の様子



▲R7.2.1 講演会の様子

## VI. 介護・障がいと自立支援

介護保険指定事業者・障がい福祉サービス指定事業者として、常に質の高いサービスの提供に務めた。また、各種感染症の予防に努めながら、相談支援事業に取り組み、誰もが住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう支援した。

### 1. 介護保険事業の推進

#### 居宅介護支援事業（ケアプラン策定等）

介護保険利用希望者への総合相談、サービス利用に際しての支援計画（ケアプラン）策定、さらに高齢者支援センター（地域包括支援センター）から介護予防ケアプラン作成を受託するなど、サービス内容を総合的にコーディネートした。また、鹿沼地区介護支援専門員連絡会運営委員として積極的に活動し情報の収集に努めた。

＜サービス提供実績＞ 令和7年3月31日現在（単位：件）

サービス名	利用回数（延べ回数）
居宅介護支援	1, 113
介護予防支援	328
合 計	1, 441

【参考資料 P37】

＜介護区分別実利用者数＞ 令和7年3月31日現在（単位：名）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
8	21	39	27	17	11	7	130

＜研修・会議等への参加＞

職員の資質向上とネットワークの構築を目的として、各種研修・会議等に参加した。

主な内容：事例検討、障がい福祉との連携、感染症対策、退院支援について等。

【参考資料 P37】

### 2. 心配ごと相談事業（介護相談）の実施

要介護高齢者やその家族のニーズに対応した各種の保健福祉サービスが総合的に受けられるよう様々な情報の提供を行い、在宅介護をして行く上での問題解決を図った。

＜相談対応実績（延人数）＞ 令和7年3月31日現在（単位：名）

介護相談	医療相談	介護家族健康相談	保健福祉サービス	住宅改修相談	介護機器相談	介護保険相談	合 計
55	5	3	1	7	10	1	82

### 3. 障がい福祉サービス事業の推進

障害者総合支援法・児童福祉法等の関係法令に基づき、障がい児者が地域で安心して暮らせるよう関係機関と連携を密にし支援を行った。

#### （1）指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業

本人や家族の希望する生活の実現や目標達成に向けての相談や障がい福祉サービスを有効に活用するためにサービス等利用計画を作成した。また、鹿沼市自立支援協議会相談支援部会等に参加し、情報の収集や相談支援技術の向上に努めた。さらに、指定障害児相談支援事業の積極的な受け入れを行った。

## VI. 介護・障がいと自立支援

令和7年3月31日現在（単位：件）

サービス名	利用回数（延べ回数）
指定障害児相談支援	104
指定特定相談支援	217

【参考資料 P37】

### 4. 研修・会議等への参加

職員の資質向上とネットワークの構築を目的として、各種研修・会議等に参加した。

- ① 介護保険サービス研修・会議 17回
- ② 障がい福祉サービス研修・会議 12回

【参考資料 P31】

### 5. 虐待防止委員会の開催

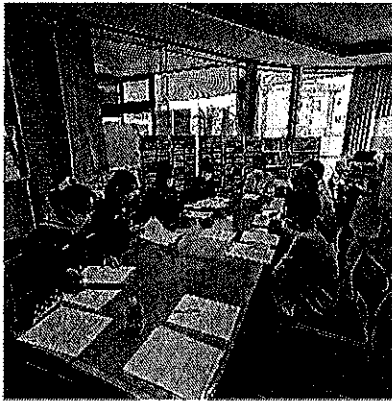
令和7年2月27日 虐待防止委員会を開催した。

【参考資料 P32】

### 6. 感染症対策委員会の開催

令和6年7月4日 ① 感染症対策委員会を開催した。

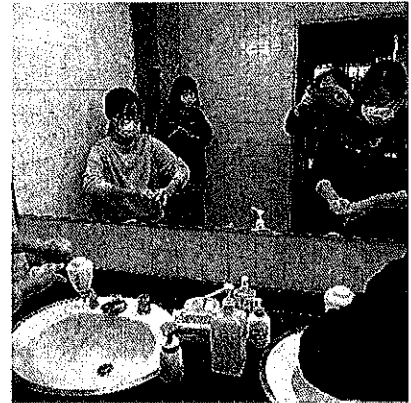
令和6年7月26日 ② 感染症対策委員会を開催した。



▲委員会の様子



▲手指衛生の手順説明



▲手指衛生の実践中

【参考資料 P32】

### 7. 事業継続計画委員会の開催

令和7年2月25日 ① OJTによる事業継続計画検討会・研修会を開催した。

令和7年3月28日 ② OJTによる事業継続計画検討会・研修会を開催した。

【参考資料 P32】

## Ⅶ. 養護老人ホーム千寿荘の運営

利用者それぞれに応じた個別支援計画を策定し、きめ細やかな支援に努め、明るく家庭的な雰囲気の中での利用者支援にあたった。行事・クラブ活動・レクリエーションを積極的に実施し、特に敬老式は前年度の縮小開催から通常規模の開催に戻し、利用者に大変喜ばれた。また、他の自治体に対しての広報活動として、入所者増を図るため市役所への訪問や広報紙の発行（年3回）を行った。

虐待や身元不明の高齢者を一時的に保護する高齢者緊急一時避難対応室運用事業は、今年度は3名の受入れを行った。5期目の指定管理受託施設として、効率的な管理運営を行った。

### (1) 利用者の状況

- ◇利用者数 29名 令和7年3月31日現在
- ◇年間異動者数 17名（新規入所7名、退所10名）
- ◇高齢者緊急一時避難対応室運用事業利用者 3名

(単位：名)

月別利用者内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所者 (定員60名)	32	32	31	30	31	31	31	30	30	30	31	29
緊急一時避難者	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0

### (2) 年間行事実績

月	行事内容	利用者参加者数 (名)
4月	10日 お花見会 11日 日帰りドライブ 16日 やちよ会総会	全員/7名/全員
5月	30日 不在者投票希望聞き取り	全員
6月	4日 不在者投票 11日 話し合いの会 27日 お楽しみ会 28日 利用者検診（肺レントゲン含む）	全員/ 19名（不在者投票）
7月	25日 七夕飾り・納涼祭	全員
8月	13日 迎え盆 16日 送り盆	—
9月	19日 彼岸墓参り	—
10月	9日 インフルエンザウイルスワクチン接種 11日 敬老式	全員
11月	13日 コロナウイルスワクチン接種 28日 話し合いの会	全員
12月	19日 利用者検診 24日 クリスマス会・忘年会	全員
1月	9日 新年会	全員
2月	3日 節分 27日 お楽しみ会	全員
3月	4日 話し合いの会	全員

### (3) 地域等との交流

昨年度に引き続き、利用者の安全面を最優先し感染予防を徹底せざるを得ず、地域住民との交流や受入れ等を行うことが困難であった。例年恒例の地域老人との交流も開催をすることができず、施設の状況を地域に知ってもらい連携を深めることもままならなかった。そのため広報誌を作成し、県内の各市町村に配布・周知を行い、情報を発信した。来年度に向けた計画は引き続き行っていく。

## Ⅷ. 高齢者福祉センター(出会いの森)の運営

高齢者一人ひとりが明るく希望をもち、個性を活かしながら生きがいのある健康的な生活を送れるよう、温泉施設の運営および教養講座の開催などを行うとともに、健康相談を実施し、利用者の健康増進に努めた。

### (1) 年間利用状況

開所日数	利用者数	利用料収入
311日	61,812人(1日平均199人)	12,010,200円

### ※ 利用者内訳

60歳以上 (市内)	60歳以上 (市外)	中学生～ 60歳未満	小学生・ 障害者	無料利用者	利用者合計
42,596人	5,558人	5,509人	6,515人	1,634人	61,812人

【参考資料 P38】

### (2) 自主事業の開催

各種の講座の開催等で高齢者の生きがいづくりや身体機能の維持向上を図った。

内容	開催回数	参加者数(延べ数)
健康体操講座	0回	0人
いきいき体操講座	0回	0人
らくらくヨガ講座	20回	340人
たのしい折り紙講座	20回	255人
サプライズイベント(粗品配布)	3回	524人
合計	43回	1,049人

### (3) 施設の有効活用

高齢者の健康づくり・生きがいの拠点として当施設の有効活用を図った。

内容	開催回数	参加者数(延べ数)
自主クラブの利用	24回	256人
健康相談	23回	60人
合計	47回	316人

### (4) 改良、改善への取組み

季節の変わり目ごとに館内の装飾を変更し、利用者に季節感を感じてもらおうよう心がけた。

利用者より売店の再開を求める声が多かったため、市内の飲食店に協力を呼びかけた結果、7一年度から定期的なお弁当の販売ができるようになった。

---

## 参考資料

---

1. 社協職員の研修会、会議等への参加状況
  2. 会費（年度別状況）
  3. 総合福祉センターの利用状況
  4. 表彰受賞者（鹿沼市地域福祉振興大会、栃木県民福祉のつどい）
  5. ボランティアセンター登録団体
  6. 共同募金の状況
  7. 赤い羽根共同募金（公募助成団体内訳）
  8. 介護保険事業の各種サービスの提供状況
  9. 障がいサービスの提供状況
  10. 鹿沼市高齢者福祉センターの利用者数累計表
-

1. 社協職員の研修会、会議等への参加状況

社協全体	参加期日	研修名	内容	参加人数
	令和6年4月1日	新採初任者研修	社協概要、運営施設見学、各事業担当者からの事業説明等	2
	令和6年4月4日	OJT 第1回経理研修会	基本事務、決算時特有の伝票作成、予算管理業務等	17
	令和6年4月5日	新規採用職員ビジネスマナー研修	社会人・話し方のマナー、コミュニケーションツールについて、電話対応	3
	令和6年5月26日	普通救命(AED)講習	緊急時に対応できる救命方法(AED操作)について学ぶ	5
	令和6年8月1日	広報研修会	効果的なPRを行うための広報力のあり方を学ぶ	2
	令和6年11月12日	倫理研修会①	コンプライアンスの振り返りとコンセンサスの重要性	16
	令和6年11月14日	中堅職員研修会	外郭団体職員中間管理職者対象各種マネジメントについて	2
	令和6年11月22日	倫理研修会①	コンプライアンスの振り返りとコンセンサスの重要性	18
	令和6年11月26日	倫理研修会①	コンプライアンスの振り返りとコンセンサスの重要性	16
	令和6年12月6日	倫理研修会②	対人トラブルを防ぐコミュニケーションとストレスマネジメントの大切さ	17
	令和6年12月10日	倫理研修会②	対人トラブルを防ぐコミュニケーションとストレスマネジメントの大切さ	18
	令和6年12月12日	倫理研修会②	対人トラブルを防ぐコミュニケーションとストレスマネジメントの大切さ	15
合 計				131

企画経営係	参加期日	研修名	内容	参加人数
	令和6年6月24日	算定基礎届事務講習会	算定基礎の事務処理の方法について	1
	令和6年8月9日	足利市社協との事業意見交換会	人事・会計・BCPの両市社協の事業毎の意見交換と情報共有	3
	令和6年8月29日	安全運転管理者法定講習	安全運転管理者の知識と心得、最新法の改正等	1
	令和6年9月10日	経理研修	フリーランス新法について	2
	令和6年10月17日	社会福祉法人会計実務講座・初級コース	社会福祉法人会計基準に準拠した日常取引の基礎・決算書の構造等について	1
令和6年11月5日	労務管理セミナー	育児・介護休業法の改正等について(R7.4.1施工)	2	
合 計				10

協働係	参加期日	研修名	内容	参加人数
	令和6年4月12日	日赤地区区分事務担当者研修会	赤十字全般について学ぶ	2
	令和6年5月21日	自立支援チーム会議	高齢福祉課主管の地域ケア会議	2
	令和6年5月21日	令和6年度第1回栃木県共同募金研究会	今年度の研究会について、募金のアプローチ方法の検討、資料について	1
	令和6年6月3日	ふじくらたすけあいの会視察研修会	地域住民主体の地域の支え合い活動について	4
	令和6年6月5日	初任者研修	コミュニケーション研修、県社協・民生委員・共同募金についての理解	2
	令和6年6月7日	共同募金基礎研修会	共同募金の基本について、活用について	1
	令和6年6月12日	中央地区安全安心総合対策推進協議会防災研修会	栃木県防災士会の防災士の講話及び中央地区における地域防災における備えを学ぶ	1
	令和6年6月13日	市民活動の助成金セミナー	助成金の性質を理解し、申請書作成のポイント等を学ぶ	2
	令和6年6月17日	市町社協ボランティア担当者連絡協議会	ボランティア事業報告、市町社協ボランティア担当者同士の情報交換	1
	令和6年6月17日	市町社協福祉教育担当者連絡協議会	福祉教育事業報告、担当者同士の情報交換	1
	令和6年6月18日	スマイルきくさわ第2層協議体総会	菊沢地区の第2層協議体の総会	2
令和6年6月18日	きくさわスマイル号実行委員会	きくさわスマイル号の活動実績報告や意見交換等	3	
令和6年6月20日	令和6年度第2回栃木県共同募金研究会	募金のアプローチ方法の検討、各市町のアピール方法の共有、資料について	1	

参考資料

協働係	令和6年6月28日	中央小学校における実践的福祉教育の検討	福祉を障がい者や高齢者のカテゴリで理解するのではなく地域に暮らす一員としての共生を学ぶ	2
	令和6年7月1日	市町村協災害支援担当者連絡会議	災害VC(ボランティアセンター)の立ち上げ・応援体制・連携体制の確認及び共有	2
	令和6年7月1日	災害ボランティアネットワーク会議	災害時における中長期的な復興のための県内多機関連携・協働の推進	2
	令和6年7月11日	災害VC運営マネジメント研修	災害VCのマネジメント層における自組織の体制整備及び行政との連携	1
	令和6年7月23日	足立区災害VCネットワーク会議	足立区社協と鹿沼市社協の災害時連携協定に基づく災害VC設置運営訓練	1
	令和6年7月23日	自立支援チーム会議	高齢福祉課主管の地域ケア会議	2
	令和6年7月24日	とちぎ災害ボランティア活動教材ネットワーク会議	県域における災害VCの資機材を供給する体制及び相互連携のネットワーク構築	1
	令和6年7月26日	初任者研修	地域共生社会・生活困窮者支援・社協VC(ボランティアセンター)について	2
	令和6年7月30日	第1回災害支援プロジェクトかぬま	鹿沼市内における災害支援に関係する団体・機関の連携の推進	2
	令和6年8月2日	生活支援コーディネーター養成研修	資源開発やネットワーク構築に関する知識や技能の習得を図る	2
	令和6年8月24日	足立区災害ボランティア災害基礎研修会・キントーン運用訓練	足立区社協と鹿沼市社協の災害時連携協定に基づく災害基礎研修の講師及びICT訓練への参加	4
	令和6年8月27日	初任者研修	権利擁護事業について、災害運営コーディネーター研修	2
	令和6年8月28日	地区担当職員による地域包括ケア勉強会	地区担当職員による地域包括ケアシステムにおける生活支援体制整備事業の理解	10
	令和6年8月30日	初任者研修	障害福祉サービス事業、コミュニケーションシップとネットワーク作り	2
	令和6年9月9日	初任者研修	社会福祉援助技術論、コミュニティワークについて	2
	令和6年9月10日	地区担当職員による地域包括ケア勉強会	地区担当職員による地域包括ケアシステムにおける生活支援体制整備事業の理解	6
	令和6年9月11日	栃木県社協・市町村協災害VC運営支援コーディネーター初級研修講師打合せ	初級研修講師陣の研修内容の協議・事前打合せ	6
	令和6年9月17日	自立支援チーム会議	高齢福祉課主管の地域ケア会議	2
	令和6年9月25日	足立区社協VC立ち上げ訓練	足立区社協と鹿沼市社協の災害時連携協定に基づく訓練参加	2
	令和6年9月30日	第2回災害支援プロジェクトかぬま	鹿沼市内における災害支援に関係する団体・機関の連携の推進	2
	令和6年10月4日	地域福祉活動計画改定・評価促進セミナー	地域福祉活動計画の目標設定・達成状況の評価のポイントと理解	3
	令和6年10月23日	令和6年度第4回栃木県共同募金研究会	今年度の募金運動について、壁新聞について、共同募金運動の現状把握	1
	令和6年11月11日	災害VC運営コーディネーター研修【初級】	災害VCの意義及び社協が担う意味、運営技術の理解	2
	令和6年11月25日	“住民主体”の地域支え合い推進フォーラムとちぎ	住民主体の身近な地域の支え合いについての講義及び事例発表、交流会	2
	令和6年12月19日	令和6年度第5回栃木県共同募金研究会	今年度の募金運動について、壁新聞について、共同募金運動の現状把握	1
	令和7年1月15日	第3回災害支援プロジェクトかぬま	鹿沼市内における災害支援に関係する団体・機関の連携の推進	2
令和7年1月21日	災害VC運営コーディネーター研修【中級】	災害VC運営、被災者の生活に関わる法制度及びニーズやフェーズに応じた支援、多機関連携についての理解	2	
令和7年2月27日	共同募金連絡会議	令和6年度の共同募金配分計画について、令和7年度の共同募金運動について	1	
令和7年2月27日	北関東3県赤い羽根共同募金情報交換会	他県、他市町村協働同募金を活かした取り組みや工夫などを学び共有	1	
令和7年3月7日	第4回災害支援プロジェクトかぬま	鹿沼市内における災害支援に関係する団体・機関の連携の推進	2	
合計				95

自立支援係	参加期日	研修名	内容	参加人数
	令和6年4月18日	あすてらす連絡会議(第1回)	R5年度事業報告、キントーンの導入について	2
	令和6年5月16日	法人後見事業推進連絡会議(第1回)	県の取組み、県内社協との情報交換	2
	令和6年6月6日	生活困窮者自立相談支援事業相談員勉強会(第1回)	R5年度の支援状況、R6年度の取り組みについて	2
	令和6年6月12日	生活福祉資金貸付事業担当職員勉強会	制度の概要、貸付業務、償還業務の事務手続き	2

参考資料

自立支援係	令和6年6月13日	市町社協法人後見事業担当職員(専門員)研修会(第1回)	成年後見制度概論	1
	令和6年6月19日	日常生活生活自立支援事業従事者養成研修会あすてらす連絡会議(第2回)	キントーンの活用と操作	3
	令和6年6月19日	鹿沼市権利擁護ケース検討会議(第2回)	権利擁護(成年後見利活用)に関するケース検討会議	1
	令和6年6月26日	市町社協法人後見事業担当職員(専門員)研修会(第2回)	後見業務の実務概論	3
	令和6年7月19日	栃木県生活困窮者自立支援制度従事者研修(基礎編)	事例検討・ロールプレイ	1
	令和6年7月19日	後見制度利用検討ガイドライン策定検討委員会(第1回)	ガイドライン策定のための課題共有等	2
	令和6年7月25日	市町社協法人後見事業担当職員(専門員)研修会(第3回)	後見業務の実務	2
	令和6年7月29日	市町社協法人後見事業担当職員(専門員)研修会(第4回)	意思決定支援について	1
	令和6年7月29日	日常生活生活自立支援事業従事者養成研修会(生活支援員・専門員)	意思決定支援について	2
	令和6年8月21日	日常生活生活自立支援事業専門員研修会あすてらす連絡会議(第3回)	専門員に求められる視点	2
	令和6年8月21日	鹿沼市権利擁護ケース検討会議(第3回)	権利擁護(成年後見利活用)に関するケース検討会議	1
	令和6年8月28日	法人後見事業推進連絡会議(第2回)	取組み報告(下野市)	2
	令和6年8月28日	後見制度利用検討ガイドライン策定検討委員会(第2回)	ガイドライン策定、関係機関との共通認識について	2
	令和6年10月15日	鹿沼市権利擁護ケース検討会議(第4回)	権利擁護(成年後見利活用)に関するケース検討会議	1
	令和7年10月16日	あすてらす連絡会議(第4回)	専門員業務の効率化、工夫等の情報交換	1
	令和7年10月16日	後見制度利用検討ガイドライン策定検討委員会(第3回)	ガイドライン策定について	2
	令和6年10月18日	生活福祉資金貸付事業担当職員勉強会	教育支援資金の事務手続きについて、事例報告	1
	令和6年10月28日	相談技術研修会	コミュニケーション技術、対人援助業務のあり方や留意点	1
	令和6年10月30日	法人後見事業推進連絡会議(第3回)	持続可能な権利擁護支援モデル事業等について	3
	令和7年12月3日	後見制度利用検討ガイドライン策定検討委員会(第4回)	ガイドライン策定について	2
	令和7年12月9日	日常生活生活自立支援事業従事者養成研修会(生活支援員)	記録のポイントと視点の共有化	1
	令和7年12月18日	あすてらす連絡会議(第5回)	生活支援員の雇用及び利用料改定について	3
	令和7年12月18日	鹿沼市権利擁護ケース検討会議(第5回)	権利擁護に(成年後見利活用)に関するケース検討会議	1
	令和7年2月10日	後見制度利用検討ガイドライン策定検討委員会(第5回)	ガイドライン策定について	2
	令和7年2月12日	あすてらす連絡会議(第6回)	金融機関等連絡会議報告、事例検討	2
	令和7年2月12日	支援ツール活用セミナー(ZOOM)	支援ツールの使い方・考え方	1
	令和7年2月13日	「おこまり福祉相談会」関連研修会	相談を手掛かりにした問題解決の思考法	2
	令和7年2月19日	鹿沼市権利擁護ケース検討会議(第6回)	権利擁護に(成年後見利活用)に関するケース検討会議	1
	令和7年3月17日	日光市権利擁護(成年後見制度利用促進)研修会	成年後見制度について	2
	令和7年3月19日	第12回日光市成年後見制度ケース検討会議	ケース検討(報告8件、継続4件、新規5件)	1
		合計		58

在宅支援係	参加期日	研修名	内容	参加人数
	令和6年4月22日	認知症患者の退院支援・地域連携(ZOOM)	認知症のある方の退院における意思決定支援について	1
	令和6年5月26日	ひきこもりフォーラム In かめま	ひきこもり経験者の講演会とパネルディスカッション	4
	令和6年5月31日	障がい児支援体制に係わるワーキンググループ勉強会	療育について・発達障害について・支援の組み立て方	2
	令和6年6月24日	令和6年度市町社協介護保険サービス等連絡会	市区町村社協経営指針 社協らしいサービスの展開について	2
	令和6年6月24日	令和6年度市町社協障がい福祉サービス等連絡会	市区町村社協経営指針 社協らしいサービスの展開について	1

参考資料

在宅支援係	令和6年6月26日	ひきこもり・不登校を理解する	ひきこもり・不登校の定義・現状・サポートの視点	1
	令和6年7月4日	第1回感染症対策委員会	グループスーパービジョンによる研修	9
	令和6年7月18日	スーパービジョン研修会	グループスーパービジョンによる研修	2
	令和6年8月5日	教育と障がい福祉の連携のための研修会	相談支援部会・児童WG・市内学校関係者とのGW	2
	令和6年8月8日	令和6年度てんかん診療連携関係者研修会(ZOOM)	こどものてんかん・てんかんの診断、治療、制度・情報提供	2
	令和6年8月15日	精神障害の基礎知識(ZOOM)	精神障害の基礎を学ぶ	1
	令和6年8月30日	面接技術研修	対象者理解を深める為の面接技術の研修	2
	令和6年9月20日	縛・ケアマネって何刀流!?	ケアマネ業務の適正化に向けて、事例検討、グループワーク	2
	令和6年10月21日	社協ネットワーク研修会(フォローアップ編)	地域福祉を推進する協働のあり方、求められる社協職員像等についての理解を深め、必要とされる知識・技術を習得する。	1
	令和6年10月21日	鹿沼市相談支援部会 事例検討会	障害児の野中式事例検討会	1
	令和6年10月25日	社会資源を知ろう・ひきこもり支援の輪を広げよう	県西圏域連絡会(一般社団法人コブル・かぬまひきこもり協議会・リトルジェムの活動・事例報告等)	1
	令和6年11月14日	当事者・家庭と関わる方のための【お金】セミナー	当事者のお金に関する現状と課題	2
	令和6年11月15日	令和6年度ケアマネジメント研修会	「本人らしさ」を引き出す介護予防プラン作成～CADL理論を活用した介護予防ケアマネジメント～	2
	令和6年11月18日	鹿沼市相談支援部会 事例検討会	精神障がい・高次脳機能障がい者のGSVによる事例検討	2
	令和6年11月21日	第2回感染症対策委員会	グループスーパービジョンによる研修	9
	令和6年11月27日	ASD・LD・ADHDの疑似体験プログラム	障がい児支援体制に係るWG勉強会	2
	令和7年1月17日	ひきこもり支援から見る対人援助のヒント	ひきこもり支援の概要と対人支援のポイント	2
	令和7年1月23日	介護支援専門員医療的知識研修(ZOOM)	高齢者の身体と特徴、よくみられる疾患について	1
	令和7年1月29日	面接のすすめ	面接技術を活用して、本人の望む暮らしを考える	2
	令和7年2月12日	ゲートキーパー養成研修	鹿沼市の自殺の現状と対策、自殺傾向の方への対応と心構えについて学ぶ	2
	令和7年2月17日	鹿沼市相談支援部会 事例検討会	精神障がい・GSVによる事例検討	1
	令和7年2月25日	OJT ①BCP検討・研修	フリー資料に基づきBCPの基礎・意義と今後の改定を検証	6
	令和7年2月27日	虐待防止研修(ZOOM)	「精神障害の基礎知識及び関わり方について」	6
	令和7年3月19日	防災シミュレーター(内閣府ホームページ)	「震度6強体験シミュレーション」	6
	令和7年3月28日	OJT ②BCP検討・研修	再度BCPの意義の確認、一部改訂について、次年度計画検討	2
	合計			

## 2. 会費(年度別状況)

会費区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	口数	金額(円)	口数	金額(円)	口数	金額(円)	口数	金額(円)	口数	金額(円)
普通会費 1口500円	19,505	9,768,415	19,014	9,501,558	18,580	9,286,952	17,851	8,929,138	17,172	8,583,314
賛助会費 1口2,000円	73	146,000	66	132,000	57	114,000	54	104,000	45	90,000
特別会費 1口3,000円	30	90,000	34	103,000	27	82,000	24	73,000	23	70,000
団体会費 1口5,000円	113	565,000	100	500,000	107	535,000	138	678,770	121	587,170
合計	19,721	10,569,415	19,214	10,236,558	18,771	10,017,952	18,067	9,784,908	17,361	9,330,484

## 3. 総合福祉センターの利用状況

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延べ件数(件)	893	1,086	1,446	1,364	1,118
延べ人数(人)	5,224	6,227	9,952	11,270	8,902

## 4. 表彰受賞者

### (1) 令和6年度鹿沼市地域福祉振興大会

#### ①大会会長表彰受賞者

(順不同・敬称略)

区 分	氏 名		
地域福祉功労者	自治会長		
	小野口 幸司	御子貝 哲也	産形 剛
	小島 実		

#### ②大会会長感謝状受贈者

区 分	氏 名		
ボランティア功労者	大槻 晴美	菅原 幸子	渡邊 久枝
	小林 玉江	川嶋 恵子	石黒 美恵子
	山登 公子	渡辺 節子	中又 令子
	福田 愛子	高橋 恵子	大出 巖
	杉田 一郎	斎藤 強	上澤 敏雄
	天海 久米	金子 春美	
	三幸町自治会登下校ボランティア		
	はなおかほっとサロン		
	日吉町ふれあいサロン		
	下奈良部さといもの会		
	大越路お達者クラブ		
	寄 附 者		
	小田部 周子		
	奈良部 實		
株式会社 安田測量			

(2) 第30回栃木県民福祉のつどい

① 栃木県知事表彰

区 分	氏 名
共同募金運動協力団体又は協力者	吉井 和夫
社会福祉施設・団体又はその従事者	神山 大
	菊池 浩史
	高秀 明義
	塚原 正弘

② 栃木県社会福祉協議会会長表彰

区 分	氏 名		
民生委員・児童委員功労者	西賀 清子	矢野 明子	柳田 光彦
	松田 道夫	鈴木 眞知子	福田 さと子
	小林 幸江	中山 光郎	大貫 恵子
	向田 伸一	襲田 利夫	山崎 幸子
	鈴木 寿子	福田 美枝	荻原 幸子
	井上 淳子	大谷 禎男	黒崎 通
	井野 百合子	矢口 隆子	宮本 弘美
	浅野 正子	太田 孝子	毛束 民子
	茂呂 正子		
社会福祉法人・社会福祉施設・団体関係功労者	江口 侑弥	鈴木 友紀	梅沢 尚史
	上野 梢	出井 仁美	高田 瞳
	徳原 友希	清原 晴美	大下 尚美
	矢板 雪子	篠原 和江	高村 友行
	芳賀 圭司	鶴見 彩香	塚原 聖
	安達 茉莉	大貫 好文	安田 仁美
	古澤 恵里	大塚 いずみ	設楽 桂子
	大塚 鉄太	土田 いつ子	伊東 真由美
	高橋 美千代	泉田 あかね	柴田 美紀
	金子 美樹	岩本 美香	大出 佳輝
	白井 菜津実	渡辺 明彦	神山 育美
	鳩山 未来	星野 麻佑美	福田 麻美
	島田 洋子	高村 有一	渡辺 靖崇
大貫 雄一			

③ 栃木県共同募金会会長表彰

区 分	氏 名	
共同募金功労者	小林 俊明	岩本 治美

5. ボランティアセンター登録団体

No.	名 称	主な活動内容
1	おはなしと人形劇のまごあぐらす	人形劇公演、読み聞かせ
2	ボランティア「みなみ」	独居高齢者を対象にした友愛訪問
3	鹿沼地区手話通訳者連絡会	手話通訳、聴覚障害者との交流
4	ふみの会大正琴	施設訪問、地域サロンの参加
5	お話ボランティアネットワークかぬま	独居老人等の話し相手
6	介護服リフォーム“ミモザ”	高齢者や障害者の衣類のリフォーム
7	点訳グループ「桐」	点訳ボランティア、視覚障害者との交流
8	ボランティアグループあつた会	高齢者住居周りの片付け・修繕、イベントへの参加
9	ボランティア ふれあい	独居高齢者の友愛活動
10	要約筆記サークルいちご	パソコンを使った文書通訳
11	朗読グループいずみ	朗読ボランティア、施設訪問
12	おはなしボランティア“ノアの会”	絵本・紙芝居・手遊び・歌遊び・工作
13	ボランティアグループ 春風	施設訪問(舞踊、唄、三味線)
14	フラダンス とりあえず	施設訪問、地域イベント活動
15	シルバー大学校同窓会鹿沼支部	社会奉仕活動
16	傾聴ボランティアありのまま鹿沼グループ	傾聴ボランティア
17	ボーイスカウト鹿沼第1団	自然体験活動、社会奉仕活動
18	ボーイスカウト鹿沼第4団	自然体験活動、社会奉仕活動
19	楽しく踊ろう会 よさこい鹿沼	施設訪問、地域イベントへの参加
20	NPO 法人 レインボー	子育て関連の活動
21	災害ボランティアグループ チームかぬま	被災地支援、市内各種ボランティア活動
22	絵本とおはなしの会	絵本の読み聞かせ
23	鹿沼市中途失聴・難聴者協会	中途失聴・難聴者に関連する活動
24	デイジーこだま	視覚障がい者への情報提供(デイジー製作)
25	シルバー大ラーニング飛翔	社会貢献活動
26	鹿沼市聴覚障害者協会	デフサロン

## 6. 共同募金の状況

単位：円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
A募金	4,156,000	4,156,000	4,657,000	4,191,000	4,047,000
B募金	7,958,200	7,630,678	6,853,927	7,422,762	7,054,858
合計	12,114,200	11,786,678	11,510,927	11,613,762	11,101,858

A募金：第1種社会福祉事業、更生保護事業、保育園を経営する事業、全県的に活動している福祉団体等の事業に配分されるもの。

B募金：第2種社会福祉事業、市町を単位とする社会福祉協議会の地域福祉推進事業に配分されるもの。

## 7. 赤い羽根共同募金（公募助成団体内訳）

赤い羽根共同募金への寄付金を活用し、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉の課題解決に取り組む民間団体に対して、「自分の町を良くする」ために、下記の事業に対して助成を行った。

No.	団体名	事業名	交付額
1	ほっとサロン「ドリーム」	高齢者交流事業	100,000
2	ほっとサロン玉田	七夕祭りお楽しみ会 クリスマスお楽しみ会の運営事業	60,000
3	学びステーション鹿沼 にこにこ会	高齢者のための生きがい支援事業	100,000
4	奈佐原さといもの会	高齢者の介護予防・交流事業	85,000
5	認知症カフェいちごの花	認知症高齢者とその家族の交流事業	70,000
6	身体障害者親交福祉会	レクリエーション事業	50,000
7	鹿沼市ひとり親家庭福祉会	ひとり親家庭のためのパソコンスキル アップ講座の運営	100,000
8	鹿沼保護区保護司会	施設訪問研修事業	50,000
9	NPO法人福聚会 就労支援B型事業所わたの実	笹草脱穀の自動化についての事業	98,000
10	NPO傾聴ボランティア ”ありのまま”鹿沼グループ	傾聴入門講座事業	93,000
11	特定非営利活動法人レインボー	孤育てからの脱却！ のびのび育て、すくすく育て事業	100,000
12	権利能力なき社団 にじのもり自然学校	子どもたちを中心とした居場所づくりの ための子ども食堂「にじのもり食堂」の開催 事業	100,000
13	北光コムスク・ねっと	北光フェスタ ～北小学校創立90周年祝祭～	100,000
14	こども食堂「ようき」	こども食堂「ようき」のお弁当支援事業	100,000
15	一般社団法人 こども食堂ノエル	こども食堂における読書活動とカフェ開催に よりこどもと親御さんの居場所をつくる	100,000
16	かぬまこども食堂 支援センター	鹿沼市こども食堂運営団体支援、新規開設支 援	100,000
合計			1,406,000

8. 介護保険事業の各種サービスの提供状況

サービス内容		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)
ケアプラン 作成	介護	136	967	153	1,097	157	1,113
	予防	23	210	31	273	39	328

9. 障がい福祉サービスの提供状況

サービス内容		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)
指定障害児相談支援		8	26	27	192	47	104
指定特定相談支援		65	373	70	396	59	217

# 高齢者福祉センター R6年度 利用者数累計表

区分	市内(有料)利用者						市外(有料)利用者				無料利用者				利用者合計 (①+②+③) ④	開所日数⑤	1日平均 利用者数 ④÷⑤		
	60歳以上		60歳未満		身障者・小学生		市内計①		市外計②		未就学児他		免除(条8)					無料計③	
	60歳以上	60歳未満	身障者・小学生	60歳未満	60歳以上	60歳未満	市内計①	市外	キャンプ場	市外計②	未就学児他	免除(条8)	無料計③	無料計③				無料計③	
12~17年度	500,498	107,029	51,566	51,566	659,093	35,722	35,722	/	35,722	/	/	50,028	50,028	50,028	1,808	412.0			
18年度	69,144	12,540	10,615	10,615	92,299	3,110	3,110	/	3,110	/	/	8,594	8,594	8,594	301	345.5			
19年度	67,798	11,437	9,978	9,978	89,213	2,684	2,684	/	2,684	/	/	7,620	7,620	7,620	302	329.5			
20年度	68,380	11,543	10,675	10,675	90,598	2,785	2,785	/	2,785	/	/	8,180	8,180	8,180	304	334.1			
21年度	68,749	9,482	10,033	10,033	88,264	2,657	2,657	/	2,657	/	/	8,716	8,716	8,716	302	329.9			
22年度	63,634	5,166	7,706	7,706	76,506	2,245	2,245	4,766	7,011	1,455	3,109	4,564	4,564	4,564	291	302.7			
23年度	55,889	4,109	7,244	7,244	67,242	1,968	1,968	4,171	6,139	1,278	2,996	4,274	4,274	4,274	295	263.2			
24年度	62,896	3,664	8,332	8,332	74,892	2,303	2,303	4,556	6,859	1,428	2,596	4,024	4,024	4,024	313	274.0			
25年度	63,052	3,377	8,248	8,248	74,677	2,166	2,166	4,777	6,943	1,432	2,443	3,875	3,875	3,875	314	272.3			
26年度	67,442	3,335	7,425	7,425	78,202	2,376	2,376	4,929	7,305	1,645	3,130	4,775	4,775	4,775	313	288.4			
27年度	64,094	7,400	9,153	9,153	80,647	2,528	2,528	/	2,528	1,444	3,573	5,017	5,017	5,017	301	293.0			
28年度	62,810	7,772	9,440	9,440	80,022	4,681	4,681	/	4,681	1,439	2,588	4,027	4,027	4,027	307	289.0			
29年度	57,060	7,114	8,154	8,154	72,328	5,274	5,274	/	5,274	1,204	2,087	3,291	3,291	3,291	282	286.9			
30年度	60,145	7,080	8,008	8,008	75,233	7,336	7,336	/	7,336	1,070	3,207	4,277	4,277	4,277	302	287.6			
元年度	54,329	6,606	6,829	6,829	67,764	7,810	7,810	/	7,810	1,031	5,444	6,475	6,475	6,475	283	289.9			
2年度	18,378	540	1,960	1,960	20,878	0	0	/	0	20	1,294	1,314	1,314	1,314	257	86.4			
3年度	16,607	851	1,708	1,708	19,166	527	527	/	527	57	976	1,033	1,033	1,033	245	84.6			
4年度	31,017	3,119	4,081	4,081	38,217	2,508	2,508	/	2,508	402	817	1,219	1,219	1,219	308	136.2			
5年度	37,688	3,830	5,440	5,440	46,958	4,676	4,676	/	4,676	342	727	1,069	1,069	1,069	313	168.4			
6年度	42,596	5,509	6,515	6,515	54,620	5,558	5,558	/	5,558	396	1,238	1,634	1,634	1,634	311	198.8			
合計	1,532,206	221,503	193,110	193,110	1,946,819	98,914	98,914	23,199	122,113	14,643	119,363	134,006	134,006	134,006	7,452	264			

※ 12~21年度については、キャンプ場利用者を区別して集計していない。同様に、小学生未満の児童についても、区別して集計していないので、免除(条8)区分に含まれる。

※ 27年度より、市外料金及びキャンプ場利用者区分を廃止した。